

### 同時資料提供

大阪市政記者クラブ  
大阪科学・大学記者クラブ  
大阪教育記者クラブ  
南大阪記者クラブ  
関西レジャー記者クラブ

平成 27 年 9 月 24 日  
大阪市立自然史博物館  
TEL:06-6697-6222

## 「大阪バードフェスティバル2015」を開催します

大阪市立自然史博物館では、「大阪バードフェスティバル2015」を関西文化の日である平成27年11月14日（土）、11月15日（日）に開催します。

「大阪バードフェスティバル」は、鳥をテーマに自然関連のサークル、地域の自然保護団体等が一堂に会して出展するお祭りです。サークル・団体の活動紹介やワークショップ等を実施し、市民のみなさんに鳥を通じて、大阪の自然の現状や自然に関わる楽しさを知っていただくイベントです。鳥だけでなく、生き物好きなら楽しんでいただけたらと思います。

「大阪バードフェスティバル」の開催は、2007年、2010年、2013年に続く第4回です。この他に自然史博物館では、2003年、2004年、2006年、2009年、2011年、2012年、2014年と過去7回「大阪自然史フェスティバル」を開催し、2008年には関西自然保護機構創立30周年を記念して企画した「かんさい自然フェスタ」と、さまざまなフェスティバルを実施してきました。毎回当初の予想以上の盛り上がりを見せ、各回の来場者は1万人を超え、多くの方々に「自然の文化祭」を楽しんでいただいております。

今回も自然に興味のある多くの方々の来場をお待ちしております。

### ■開催概要

1. 名 称：「大阪バードフェスティバル2015」
2. 期 間：平成27年11月14日（土）、11月15日（日）
3. 会 場：大阪市立自然史博物館 本館および博物館玄関前ポーチ、ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター2階）  
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23（長居公園内）  
TEL：06-6697-6221 FAX：06-6697-6225  
地下鉄御堂筋線「長居」下車3号出口・東へ800m  
JR 阪和線「長居」下車東出口・東へ1000m
4. 入 場 料：無料  
※平成27年11月14日（土）・11月15日（日）ともに「関西文化の日」のため博物館本館入館料も無料となります。
5. 開催時間：9時30分から16時30分（ただし両日とも入館は16時まで）

## 6. 開催内容

### ◆ブース展示（両日とも開催）

本館・ネイチャーホール・ポーチなどで、出展団体による活動紹介や標本などの展示、自然をテーマとした参加体験型の工作・ゲームコーナーなど。

### ◆ワークショップ（両日とも開催）

様々な自然観察・自然保護教育プログラムを実施します。受付は当日会場で行います。

### ◆世界の双眼鏡・望遠鏡が勢揃い（両日とも開催）

ケンコー、コーワ、ニコンをはじめとして、世界各社の双眼鏡・望遠鏡が勢揃いします。

場所：自然史博物館 玄関前ポーチ

### ◆関西野生生物画クラブ KaNAC「生き物アートギャラリーvol.1」（両日とも開催）

関西野生生物画クラブは、野鳥や野生動物をモチーフとしたワイルドライフアートを手掛ける作家の集まりです。野生生物の持つ美しさを描くとともに、作品を通じ多くの方々に彼らへの関心を高めていただきたいと念じながら創作活動を続けています。

場所：自然史博物館 ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター2階）

### ◆講習会

#### 谷口高司鳥絵工房「谷口高司のタマゴ式鳥絵塾」

野鳥図鑑で有名なイラストレーター、谷口高司氏による楽しい鳥の絵の描き方講習会です。オリジナル野鳥缶バッジもプレゼントします。

日 時：

<小学生向け：カイツブリ> 11月14日（土）10：30～11：30

<大人～中学生向け：モズ> 11月14日（土）14：30～15：30

<大人～中学生向け：ホシハジロ> 11月15日（日）13：00～14：00

<どなたでも：トリケラトプス> 11月15日（日）14：30～15：30

集 合：自然史博物館 玄関前ポーチ

参加費：1000円（画材代）

定 員：各回20名

主 催：谷口高司鳥絵工房

その他：画像の持込不可、写真撮影禁止、保護者の同席不可

#### 「叶内拓哉とバードウォッチング」

野鳥写真家の叶内拓哉さんを講師に迎え、長居植物園内でバードウォッチングをします。

日 時：11月14日（土） 10：30～11：30

集 合：自然史博物館 玄関前ポーチ

参加費：無料

主 催：コーワ

### 「叶内拓哉の野鳥撮影講座」

野鳥写真家の叶内拓哉さんを講師に迎え、作例写真を見ながら撮影のエピソード、野鳥撮影の楽しみや撮影のノウハウをお話していただきます。

日 時：11月14日（土） 12：30～14：00

集 合：自然史博物館 玄関前ポーチ

参加費：無料

定 員：30名

主 催：コーフ

### 「はじめての鳥みたい（隊）」

長居植物園内でバードウォッチングをします。野鳥を観察することが初めての方、まだまだ経験のない方も大歓迎です。

日 時：11月15日（日） 10：30～12：00、 13：30～15：00

集 合：自然史博物館 玄関前ポーチ

参加費：無料

定 員：各回30名

主 催：日本野鳥の会大阪支部

### 「鳥の暮らす森の自然」

長居植物園で鳥の食物になる植物や昆虫を観察して、秋の気配を探しましょう。やさしく案内するので、小さなお子さんから大人まで参加できます。

日 時：11月14日（土）・15日（日） 11：30～13：00、 14：00～15：30

集 合：自然史博物館 玄関前ポーチ

参加費：無料

定 員：各回30名

主 催：大阪市立自然史博物館友の会

その他：長居植物園内で昆虫などの採集はできません。

### ◆講堂プログラム

<11月14日（土）>

日本野鳥の会大阪支部 記念シンポジウム「街中で繁殖するハヤブサとチョウゲンボウについて考える」

近年、ハヤブサやチョウゲンボウが人工物で繁殖している事例が多く観察されるようになりました。その実態を実例で紹介し多くの方々に知っていただき、人工物での繁殖が何を意味しているのか、野鳥を見守り、自然環境を保護することを目指す私たちがとるべき態度・行動はどうあるべきか等について考えます。

日 時：11月14日（土） 13：00～15：00

会 場：自然史博物館本館 講堂

参加費：無料

プログラム：

13：00 開会の挨拶

13：05 話題提供

「泉大津の高層ホテルで繁殖するハヤブサについて」 泉大津ハヤブサ・サポート倶楽部

「太子町の庁舎で繁殖するチョウゲンボウについて」太子町チョウゲンボウを見守る会  
14：20 パネルディスカッション「大阪湾の干潟や渡り鳥を守るために、私たちにできることは…」高田 博氏（日本野鳥の会大阪支部幹事）  
15：00 閉会の挨拶 平 軍二氏（日本野鳥の会評議員）  
主 催：日本野鳥の会大阪支部

<11月15日（日）>

谷口高司画業 40 余年記念トークショー「野鳥図鑑をめぐる 3 人のはなし 描く人、つくる人、使う人」

バードウォッチングに欠かせない図鑑。今年、日本野鳥の会から『フィールドガイド日本の野鳥増補改訂新版』が発行されました。初版から 32 年、著者である故高野伸二さんの思いを連綿と受け継ぎ、3 回の改訂を経て現在に至っています。この図鑑の背景をはじめとして、野鳥図鑑の魅力や問題点、今後の展開など、違った立場で図鑑に携わる 3 人の目線で語りつくす 1 時間半です。

日 時：11 月 15 日（日） 10：30～12：00

会 場：自然史博物館本館 講堂

参加費：無料

講 師：谷口高司氏（谷口高司鳥絵工房）、瀬古智貫氏（日本野鳥の会）、和田 岳（大阪市立自然史博物館）

主 催：谷口高司鳥絵工房・大阪市立自然史博物館

後 援：公益財団法人日本野鳥の会

シンポジウム「大阪のサシバは生き残れるか？ サシバの生息環境とその現状」

里山のタカであるサシバは、近年、大阪府をはじめ日本各地で減少が指摘されており、それには里山の減少や変化が関係していそうです。そこで、日本各地や大阪のサシバの生息状況の報告とともに、サシバが暮らせる里山環境を確認し、その保全について考えたいと思います。

日 時：11 月 15 日（日） 13：00～15：30

会 場：自然史博物館本館 講堂

参加費：無料

プログラム：

13：00 はじめに

13：10 「日本のサシバの生息状況と生息地の環境条件」東 淳樹氏（岩手大学農学部）

14：10 休憩

14：20 「かつての南大阪のサシバの生息状況と繁殖生態」小島幸彦氏（兵庫森林管理署）

14：50 「大阪のサシバの現状」サシバプロジェクト in 大阪

15：10 質疑応答

主 催：一般財団法人環境事業協会

7. 主 催：

大阪市立自然史博物館、認定特定非営利活動法人大阪自然史センター、関西自然保護機構

8. 協 賛：

株式会社アクアテイメント、アルパインツアーサービス株式会社、株式会社エンウィット、株式会社ガードフォースジャパン、カールツァイス株式会社、協栄産業株式会社、株式会社ケンコー・ト

キナー、興和光学株式会社、タイガー魔法瓶株式会社、栃木屋工房、株式会社ニコイイメージングジャパン、一般社団法人日本望遠鏡工業会、株式会社阪神交易、株式会社文一総合出版、ベルボン株式会社、招き鳥の巣、リコーイメージング株式会社、株式会社レイマー

## 9. 協力:

大阪生物多様性保全ネットワーク、一般財団法人環境事業協会、関西野生生物画クラブ (Kansai Nature Art Club 略称 KaNAC)、谷口高司鳥絵工房、日本野鳥の会大阪支部、阪急阪神ホールディングス株式会社、阪急阪神未来のゆめ・まち基金

## 10. 出展団体: 大阪周辺の自然観察団体など 64 団体 (予定)

株式会社アクアテイメント、アルパインツアースervice株式会社、池田・人と自然の会、伊丹市昆虫館、伊丹市昆虫館友の会、茨木・高槻自然に親しむ会、株式会社エンウィット、大阪市、大阪市エコボランティア (大阪市環境局)、公益社団法人大阪自然環境保全協会、認定特定非営利活動法人大阪自然史センター、大阪城バードウォッチモーニング、大阪市立自然史博物館友の会、大阪生物多様性保全ネットワーク、大阪鳥類研究グループ、大阪府、公益社団法人大阪みどりのトラスト協会、乙田休耕田クラブ、株式会社ガードフォースジャパン、カールツァイス株式会社、株式会社かふえびと / CafeSlowOsaka、カラーマーキング鳥類調査グループ・関西、河内長野野鳥の会、一般財団法人環境事業協会、関西自然保護機構、関西バードカービングクラブ、関西野生生物画クラブ (Kansai Nature Art Club 略称 KaNAC)、きしわだ自然資料館、岸和田市、協栄産業株式会社、NPO 法人共生の森、恐竜愛好会ジェラシックパー君、久米田池愛鳥会、株式会社ケンコー・トキナー、興和光学株式会社、国際自然保護連合日本委員会 / ジュゴン保護キャンペーンセンター、堺市、堺野鳥の会、サシバプロジェクト in 大阪、五月山動物園、里山田舎ごっこ、NPO 法人シニア自然大学校 調査研究部 野鳥科、ジュニア自然史クラブ、公益社団法人生態系トラスト協会、全国野鳥密猟対策連絡会、泉北野鳥の会、タイガー魔法瓶株式会社、高槻市立自然博物館 (あくあびあ芥川)、谷口高司鳥絵工房、TEAM 魚っしょい!、鳥類繁殖分布調査会、栃木屋工房、友の会読書サークル Books、なにわホネホネ団、奈良教育大学自然環境教育センター、株式会社ニコイイメージングジャパン、西淀自然文化協会、日本バードカービング協会、特定非営利活動法人日本バードレスキュー協会、一般社団法人日本望遠鏡工業会、公益財団法人日本野鳥の会、日本野鳥の会京都支部、寝屋川市自然を学ぶ会、阪急阪神ホールディングス株式会社/阪急阪神未来のゆめ・まち基金、株式会社阪神交易、株式会社文一総合出版、ベルボン株式会社、松葉画舫 Matsuba-gabou、招き鳥の巣、淀川管内河川レンジャー、リコーイメージング株式会社、株式会社レイマー (50 音順)

## 11. 問合せ

### ◆フェスティバルに関するお問い合わせ

大阪バードフェスティバル事務局 (認定特定非営利活動法人大阪自然史センター内)

TEL : 06-6697-6262 FAX : 06-6697-6306

e-mail : [fes2015@mus-nh.city.osaka.jp](mailto:fes2015@mus-nh.city.osaka.jp)

「大阪バードフェスティバル2015」公式 web サイト

<http://www.omnh.net/npofes/2015/>

### ◆取材・広報・広報用画像に関するお問い合わせ

大阪市立自然史博物館 総務課 広報担当 山上

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 (長居公園内)

TEL : 06-6697-6222 FAX : 06-6697-6225 e-mail : [k-yamagami@ocmo.jp](mailto:k-yamagami@ocmo.jp)



◆広報用提供写真

1. 会場内の出展ブースの様子  
(ネイチャーホール)



4. 日本野鳥の会大阪支部による  
バードウォッチング入門講座



2. 会場内の出展ブースの様子  
(玄関ポーチ)



5. 大阪市立自然史博物館友の会による  
自然観察体験



3. 自然の素材を使った工作体験  
(イメージ)

